

景 観

近景

景観を距離で分類する場合の名称の一つ。対象物との距離が近いものを近景という。目安としては対象物との距離が30m以内の範囲。また、対象物との距離が30～250m程度の範囲を中景、250m以遠の可視領域を遠景という。

景観

景色、眺め。特に優れた景色。景観とは、見る主体である人と見られる対象である環境との視覚的関係である。

景観構成要素（景観資源）

景観構成要素は景観資源とも呼ばれ、自然景観構成要素（自然景観資源）と人文景観構成要素（人文景観資源）と自然人文景観構成要素（自然人文景観資源）に大別される。

「自然景観構成要素」とは、天空、高い山、低い山、岩石、海、河川、湖沼、水辺、田園、広葉樹林、針葉樹林、動物、植物、ふるさとの風景、鎮守の森などの自然物をいう。

「人文景観構成要素」とは、歴史的建物、橋梁、ダム、道路、港湾、鉄塔、電柱、電線、造成地、裸地、草地、耕地、集落、寺、神社、教会、塔、城跡、庭園、船舶、列車、自動車、看板などの人工物をいう。

「自然人文構成要素」とは、渓谷を背景にした橋梁、丘陵と集落、海と航行中の船舶、道路と走行中の自動車、森林と神社、山岳と史跡、田園と城跡などのように、自然要素と人文要素が一体となったものをいう。

景勝地

景色の優れている土地

史跡

歴史に残る事件に関係のあった場所・建物や遺構（古い建造物で、今日にその一部が残っているもの。古代の構築物の様式や配置などを知る手掛かりとして、土地に残された基壇や柱穴等）

主要眺望地点

重要な景観対象を望む地点や、計画地及び周辺地域を含めた地域を優れた眺望範囲で望むことが可能な眺望の優れた地点

都市景観

都市は、建物、道路、橋、水、緑など様々な要素から成り立っており、また、人々の活動の場となっている。都市景観とは、このような外部空間の見え方であるとともに、多くの人々が視覚的に共有する空間である。

眺望点

環境影響調査における眺望点とは、不特定多数の人の集まる可能性のある公共的な場所で、対象事業計画地を望むことのできる地点を示す。展望台、車道、歩道沿線等がこれに当たる。

名勝

景色のよい土地

裸地

植物が存在せず、礫や土砂が露出している土地。自然状態では河川の氾濫跡、崖崩れ等による岩石や礫の堆積地、火山の噴火により流出した溶岩原等がこれに当たる。人工的なものとしては造成地等で表面の緑化措置が行われる前の状態を指す。

緑地

緑地には、都市公園などに該当する営巣物たる緑地を意味する狭義の緑地と、都市公園だけでなく、社寺境内地などの空地の多い施設、農耕地、山林、河川、水面などのオープンスペースまで含める広義の緑地がある。

緑視率

主として市街地における緑の量の比率を示す指標の一つ。高さ1.5mの視点で35mmカメラを用いて水平に撮影した写真（水平画角54°・垂直画角38°）の中にある緑の割合を示し、単位はパーセントで表す。この緑視率は、写真の視野を用いて表すことから、スライド緑量とも呼ばれる。